

授業科目名・形態	高齢者福祉論 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	中里 操	開講期	1年 後期	単位数	2

### 【授業の主題】

高齢者の生活を取り巻く社会情勢や虐待や地域移行、就労問題などの生活実態を、社会福祉や介護問題として理解する。その上で生活支援にあたって必要とされる介護の考え方、介護保険制度や高齢者福祉・介護に係わる他の法制度について理解する。

### 【到達目標】

1. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉・介護需要(高齢者虐待や地域移行、就労の実態を含む)について理解する。
2. 高齢者福祉制度の発展過程について理解する。
3. 介護の概念や対象について、並びにその理念について理解する。
4. 介護過程や介護の技法、介護予防、終末期の在り方などを理解する。
5. 相談援助活動において必要となる介護保険制度や高齢者の福祉・介護に係る他の法制度を理解する。

### 【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション、高齢者とは
- 第 2回 高齢者の特性(社会的・身体的理解)
- 第 3回 高齢者の特性(精神的・総合的理解)
- 第 4回 少子高齢社会と高齢者(少子高齢者と社会問題)
- 第 5回 少子高齢社会と高齢者(高齢者を取り巻く諸問題)
- 第 6回 高齢者保健福祉の発展(高齢者保健福祉の起源と生成)
- 第 7回 高齢者保健福祉の発展(高齢者保健福祉制度の発展)
- 第 8回 高齢者支援の関係法規(老人福祉法)
- 第 9回 高齢者支援の関係法規(高齢者虐待防止法)
- 第10回 高齢者支援の関係法規(バリアフリー新法、高齢者住まい法)
- 第11回 介護保険制度の基本的枠組み(介護保険法)
- 第12回 介護保険制度の仕組みとサービス体系(介護報酬、介護予防、専門職の役割等)
- 第13回 高齢者を支援する組織と役割(介護保険法における組織と団体、ネットワーク、地域包括支援センター等)
- 第14回 介護の概念や対象
- 第15回 介護過程・介護各論(認知症ケア、終末期ケア、介護と住環境)

【授業実施方法】 講義形式で行う。

### 【授業準備】

前回講義を復習する。講義予定箇所を読み、専門用語、概念等について調べておく。疑問点を整理しておく。講義中に事例として取り上げたニュースなどは自分で確認しておく。

### 【主な関連する科目】

高齢者福祉論Ⅱ、社会福祉概論、社会保障論、地域福祉論等

### 【教科書等】

新・社会福祉士養成講座『高齢者に対する支援と介護保険制度』第6版 中央法規出版

【参考文献】 適宜紹介する。

### 【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢10%、提出レポート30%、期末試験の成績60%の総合評価とする。

### 【学制へのメッセージ】

高齢者を取り巻く現状と課題を踏まえ、地域包括支援システムを理解する。介護問題に収斂せず、地域文化も含めた生活環境と生活実態に関心を持って下さい。